

■ タイトル

ラフタークレーンの 作業半径確認中に於ける転倒事故

■ 基本情報〔 土木・**建築** 〕

災害発生日	2012年 1月			
災害属性	被災程度	物損	被災者属性	-
被災者	職種	オペレータ	年齢	- 歳
	経験年数	- 年	就労日数	- 日
災害情報	型別	転倒	起因別	クレーン
機械属性	機種	ラフタークレーン	能力	50 t
	仕様	-	その他	-

■ 事故・災害発生状況

翌日の作業半径を確認中、荷は吊らず、ブームはフル出し（41.2m）+ジブは1段出し（7.8m）で倒していった。黄色ランプが点灯し限界を感じブームを起こしたが、そのまま転倒した。

■ 発生要因（WG想定含む）

- ①クレーンのジブ出し作業においてオペレーターがコンビネーターセット操作をしたと勘違いして運転をした。
- ②事故の機種は年式が古くジブの張り出し検知機能が付いていなかった。
- ③クレーンのジブ出し作業におけるオペレーターの作業手順を確認していなかった。

■ 発生状況図



■ 再発防止対策（WG想定含む）

- ①ジブ出し作業時はコンビネーターセット完了を担当者に確認してもらってから作業にかかる。
- ②ジブを使用する作業時はコンビネーター設定を行った事を確認して点検表に記入する。
- ③ジブ出し作業時はオペレーターにコンビネーターセットをした事を報告させ確認してから作業にかかる。